

手を貸そう
LEND A HAND

IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin



RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL.(072)622-2255 〒567-0881
 例会 毎水曜日12時30分 いばらき京都ホテル 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL.(072)620-2121
 会長/簡 仁一 幹事/掛谷 建郎 会報委員長/吉江 建郎
 委員/山口、山岡 木本

姉妹クラブ:台北西北区扶輪
 友好クラブ:インドネシア・チネレ

No.25 平成16年 1月 7日

本日の卓話
 1月7日(水)
 「新年の挨拶」
 簡 仁一 会長

例会記録

第2175 回例会 12月 24日(水)晴
 ロータリーソング「茨木ロータリークラブの歌」
 斉唱

会長の時間

簡 仁一 会長

先週の例会は親睦活動委員会の皆さんの企画で、楽しくてなごやかな忘年家族親睦会でした。

皆さんもご存じのように21日に鰯洲元会員がご逝去されました。お通夜と告別式には沢山の会員の方々もご参列頂きました。

鰯洲さんは大正13年のお生まれで享年80才でした。茨木ロータリーには昭和39年に入会され、2年前にお体を悪くされ退会されるまで37年間在籍されました。

退会後も田尾さんが届けるクラブ会報を楽しみにしていたそうです。ここで個人のご冥福をお祈りして1分間の黙祷させて戴きます。

出席報告

第2175 回例会			前々回(第2173 回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
34 (12)	16	6	75.72 %	1	95.45 %

(黙祷)

さて、今年の例会も今日が最後になります、お陰様で未熟ながら会長職を何とか半年を過ごさして戴きました、これからもよろしくお願い致します。

また、新しい年が会員の皆様にとって良い年になることをお祈りして会長の時間にさせて戴きます。

幹事報告

掛谷建郎幹事

1、RI及び2660地区連絡事項

- 1) 宮田 GE より「100の100周年祝賀アイデア」
- 2) JGFR 沖縄ゴルフ全国大会の案内
 3/15(月) 於:琉球ゴルフ倶楽部

2、茨木市、他RCよりの依頼事項

- 1) 第2組IMの案内 2/21(土)14:00~
 於:オオサカサンパレス
- 2) 北摂12RC 幹事会の案内
 1/23(金)18:00~ 於:大同門江坂店
- 3) 市・住みよいまちづくり協議会「茨木ってどんなまち」感想募集について
 締切2/27(金) 詳細は掲示板

委員会報告

親睦活動委員会

戸川通夫委員

12月17日の忘年家族親睦会に会員、ご家族の皆様のご多数のご出席をいただき有難うございました。又、ゲームの景品として多数の物品をご提供頂き有難うございました。厚くお礼申し上げます。

「毎日 ぼちぼち、毎日 ばらいろ」

皆さんこんにちは、今日は、クリスマスイブです。「毎日 ぼちぼち」というお話をさせて頂こうと思いますが、それでは土気も上がりませんので、少し楽しく「毎日 ばらいろ」と、そんなことも合わせてお話させていただきます。

最近、呼吸器が悪くなりまして、流暢に話しをする事が出来ません。その辺はどうか一つご勘弁願いたく宜しくお願い致します。

私は、来年 85 歳を迎えますが、人生とはずいぶん長いようで短いもので、まるで保津峡をサーと下ってきたような早さを感じます。今では、身体は難破船のように傷んでしまい、あちこち病院で手当てをしているというような状態でございます。

私は、大学卒業時、伊藤忠に籍を置いて、航空隊に行き、終戦後は高島屋に転職いたしました。当時、高島屋では、開店時にいつも流される音楽が店歌であった、「ばら色の人生(ラビアンローズ)」でした。すばらしい音楽ですネ！素晴らしい音楽というものは、本当に私達を身に締る思いにさせ、また晴れやかな雰囲気包ませるものです。シャンソンにはいい歌が沢山あります。皆様方にお馴染みで、音大など出た方が必ず歌う「愛の賛歌」、素晴らしい歌です。越路吹雪が歌いましてから、何処でも彼処でも、少しお目出度い時には必ず歌われます。私は、古来日本の歌は全て好きでございますが、そんな中でも、なんとなく味があるなということで、シャンソンがたまらないほど好きです。北新地を飲み歩いた後でも、ちょっと相手の顔を見ながらシャンソンのバーへ行きます。暗い灯火のなかで美人が歌うと、雰囲気もよく、そうすると相手が、「橋本さんいい所へ連れてきてくれたネ！」と喜んでいただけます。そんなことで、絶えずシャンソンバーへ行ったものです。私はいろいろなオペラ歌手を知っていますが、この中(茨木RC)にも非常に声の質の良い人が一人いらっしゃいます。Kさんのように、音楽学校にでも行っておれば、今頃たいした歌手になっていたと思います。声の質というものは、生まれながらに持っているものでして、冷凍室などにしまっておかず、今からでも勉強して、シャンソン歌手になって頂ければと思います。今言ったようなバーを教えてくださいとおっしゃる方がいれば教えます。たとえば、それは築地容子という歌手です。宝塚出身で、俳優の加藤剛と従兄弟ですが、この人が、私は大好きで、長年お付き合いをさせて頂いております。また、シャンソンの曲は沢山ありますが、例えば、“セッシボン” “枯葉” “パリー祭” “人の気も知らないで”とか、よろしいね“小雨の降る経” “モンマルトルの丘”とか 沢山良い歌があります。私が高島屋で企画部長をしておった時分に、いろいろな先生方と、或はいろいろな人を招待したり、されたりした

時に、飲んで騒いで、その後、こういった所にちょっと行くと、皆さん喜んで頂きました。こうゆう時代が私の一つのばら色の人生の一端であったんじゃないかなと思うっております。

“女性”の方で、一番ご苦労しているのはTさんかもしれません。大きい会社にいると彼女を持ってません。これが会社雇われ人間と、自分が経営している者との大きな違いですね。その点、Tさんはやり手で、業績も上げられているし、自分のしたい事も思う存分やっておられる。と言うようなことで、人間誰でも「ばら色の時代」があります。私の「ばら色の人生」は音楽と共に歩くということでありました。年末になると、ベートーベンの第九交響楽、あの“歓喜の歌”は素晴らしいものだと思います。いつも大阪城ホールで 1 万人の混成合唱団が、自分の声をおるだけ張り上げて歌います。素晴らしいものだと思います。

話しは変わりますが、私が今かかっているお医者様のモットーは、医者たるべき者は「五者」でなければいかんと言うことです。五者とは何かと考えると、これは経営者も同じなんでしょうけれど、「学者」(研究者)でなければならぬ、「教育者」(リーダー)でなければいけない、「役者」(演技者)でなければ、「芸者」(人を楽しませる)でなければ、そして「易者」(先見の明を持つ)でなければならぬ。これが「五者」なんですよ。と！ああなるほどな、と思ひまして、これを自分に照らし合わせて見ましたが、私にはどれ一つ合格点を戴くものはないんです。そうして考えてまいりますと、人生いろいろだな、恋の道もいろいろだなと、島倉千代子やないけれど、いろいろでいいのやちがうかと、或は音楽のなかでも未成交響楽というあんな素晴らしいものがあるやないか。人間みんな未完成であるが故に、また魅力があるのと違うだろうか、とこのように思うと、気が楽になります。シューベルトの子守り歌でも歌って、眠るのが最高かも知れませぬ！

まー、そう言ったことで、私は長い時間音楽と共に過ごしてきました。それも恵まれた事に、たまたま、私が若い時分にバイオリンをやっていたということがあります。朝日会館で交響楽団のメンバーとして出た事もあります。指揮者に、君が音を出すとよそが狂うからあんまり音をださんといてくれと言われまして、これはいいよ才能がないと思ひましてじつは辞めました。ところが航空隊の見習士官時代、初めて私の当番兵に柴田陸睦という藤原義江の後を継ぐ日本の大オペラ歌手がきたんです。私は、部隊長に柴田陸睦の音楽会を催したら如何ですかと進言しましたら、隊長は大変音楽が好きで、音楽の分からない人は人間ではないよ、分かったやろうと、劇場(台湾の嘉義)を借切って、柴田陸睦のリサイタルをやったのです。大評判になり、観客は大変感激したものです。そのような事もありまして、彼はもう死にましたが、柴田陸睦とは40年も50年もの付き

合いを致しました。

芸は身を助けるといいますが、そのような事を私はやってきたように思います。ですから、皆様方いろいろあほになって遊ぶ時もあれば、また、罪を犯した者が罪でなくして皆さんに施しを与えるとゆうふなことになる場合も沢山あるわけです。そう言ったことでわたくしは今日まで来ました。

話しは尽きませんが、どうか皆さん方お元気で、楽しいお正月を迎えて頂きたいと思います。有難うございました。

ニコニコ箱

秋山 S.A.A

ホームクラブ皆出席	野田
親睦活動委員会の皆様ありがとうございました	楽しい忘年家族会でした
ラッキーな忘年親睦会でした	ありがとうございます
今年最後のロータリーを記念して	笠原
親睦委員会の皆さん大変楽しい忘年親睦会ありがとうございました	橋本淳様にお褒めの卓話いただき
ありがとうございます	久保
忘年例会を欠席して	野田
忘年例会出席できず申し訳ありません	吉江
橋本大先輩の話ありがとう	田中
ガバナー公式訪問記念写真を頂いて	野田

本日計 29,000円

累計 1,112,309円

次回卓話

「文化芸術について」

京都工芸繊維大学学長 木村光佑氏